保健産業事報

発行所
株式会社 保健産業事報社
〒171-0022
東京都豊島区南池袋3-14-5
TEL(03)3988-1899
FAX(03)3988-3484
E-mail
hsjs@y6.dion.ne.jp
購読料1ヶ年郵送6000円

「流通改善懇談会」開催

厚労省

4テーマの課題を委員で共有

「懇親会」会場の様子

厚労省の「医療機器の流通改善に関する懇談会」(座長＝嶋口充輝医療科学研究所所長)は2月13日㈮の午後1時から、「グランアーク半蔵門」(東京都千代田区)で、「第2回会合」を開催した。当日は、①「医療機器等への標準コード付与」の推進②医療機器流通に固有の販売形態③SPD④「医療機器業公正競争規約」および「医療機関等における医療機器の立会いに関する基準」などをテーマに委員間で、共通の情報を確認しあった。

標準コード付与を推進

会合では、医療機器、政局経済課が「医療機器全体では平成19年9月末現在でJANコード取得割合93・1%、データベース登録77・4%、バーコード貼付79・8%——に達している。医療材料では生産、流通業者の任意に委ねられているため、標準コードを付与する業者、付与しない業者が混在しており、その効果が十分に発揮されている、とはいい難い。医療材料でも、通知を発出し、標準コード付与で、その効果の拡大をはかる」として、具体的に「医療機器、体外診断用医薬品と医療機関で医療用に繰り返し使われる医療機器以外の消耗材料の包装単位を表示対象とする」などを指摘後、「日本医療機器産業連合会(医機連)の業界マニュアル(医療機器等の標準コード運用マニュアル)に基づき、官民が連携して、コード化を進めていく」と説明した。

また、医療機器流通の販売形態に関して、日本医療器材工業会の星野正紀氏は所有権が事業者に留保されている製品が、医療機関に存在するケースについて、「医療機器業公正取引協議会で定めた基準にのっとり、医療機関に医療機器を無償で貸与することを『貸し出し』、事業者が一定の目的、用途のために所有権を留保したまま医療機関に医療材料を預託することを『預託』という。預託品物流は、メーカーが倉庫に出荷する。

SPDに正当な評価を

一方、SPDについては、SPD研究会の笠原康介理事長が「医療材料、医薬品に限定して話を進めると、SPD(サプリティ・プロセッシング・アンド・ディストリビューション)とは物流管理業務であり、この不随業務として、調達・購売業務がある。『基本的な連用形態は管理業務、在庫・保管場所、管理対象物品——の組み合わせになる。多種多様な業者がSPDに参入しており、今後、求められるのは経営支援、トレーサビリティなどの安全管理であり、将来的には電子発注、EDI取引の基盤になる——と期待されている」

協和医科器械

データベース「メッカル」

ウェブ検索などサービス開始

協和医科器械(社長＝池谷保彦氏、静岡県庵・保管場所、管理対象物品——の組み合わせになる。多種多様な業者がSPDに参入しており、今後、求められるのは経営支援、トレーサビリティなどの安全管理であり、将来的には電子発注、EDI取引の基盤になる——と期待されている」